

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

7月6日（木） 日報【実績】	内 容
現場復旧対応	<p>○108号室の安全確保のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード内の貯蔵容器を移動するための作業計画書を作成中です。 ・フード内の貯蔵容器の蓋を固定するための作業を終了しました（テープによる貯蔵容器の蓋固定作業、回収した粒子や養生シート等を収納した金属容器の移送）。 <p>※ 作業内容の詳細は、 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/070302.pdf をご参照ください。</p> <p>○現場の除染</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛散したものを除去するための作業内容等を検討中です。
原因究明対応	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続中です。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂製の袋にガスを注入したものが金属缶中で破裂する事象を模擬した実験及び貯蔵容器に蓋を載せた状態での実験を継続中です（非管理区域）。 ・放射線（アルファ線）を照射した樹脂が分解する事象を調べる試験を行い、重量測定及び密閉状態での内圧測定を継続中です。 ・樹脂製の袋へのガンマ線照射を終了し、照射前後の引張試験を継続中です。 ・エポキシ樹脂へのヘリウム照射試験を開始しました。
その他 (総点検・水平展開、 被ばく評価対応など)	<p>○核燃料物質の貯蔵等に係る総点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点における総点検（貯蔵中の核燃料物質の管理状況、貯蔵容器等の取扱い作業に関する管理状況の確認等）を実施中です（6/15～）。 <p>○被ばく評価（バイオアッセイ協力、外部被ばく評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオアッセイ試料（便）の分析結果のとりまとめを終了しました。

掲載日：7月7日（金）

	<ul style="list-style-type: none">・外部被ばく線量の評価を継続中です。○7月6日に実施したフード内の貯蔵容器の蓋を固定（テープ固定）するための作業に関する写真をホームページに掲載しました。○外部対応<ul style="list-style-type: none">・原子力規制庁と定例面談を行いました。・原子力規制庁に対し作業計画書（貯蔵容器の運搬、スミヤろ紙等の運搬・分析作業）の説明を行いました。
--	---